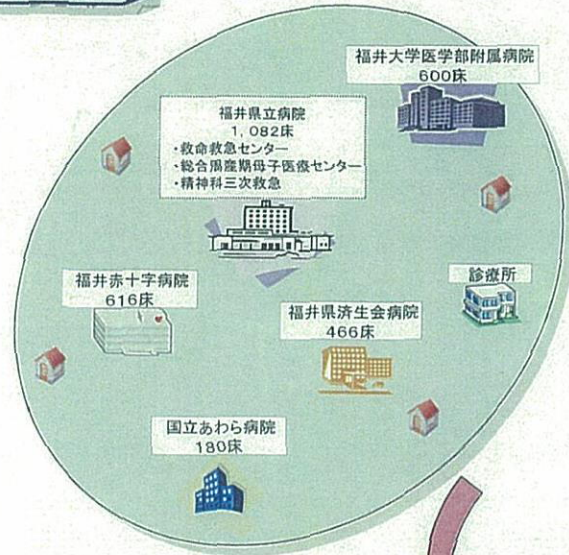


福井県地域医療再生計画(福井・坂井医療圏:機能分担・連携に重点化)

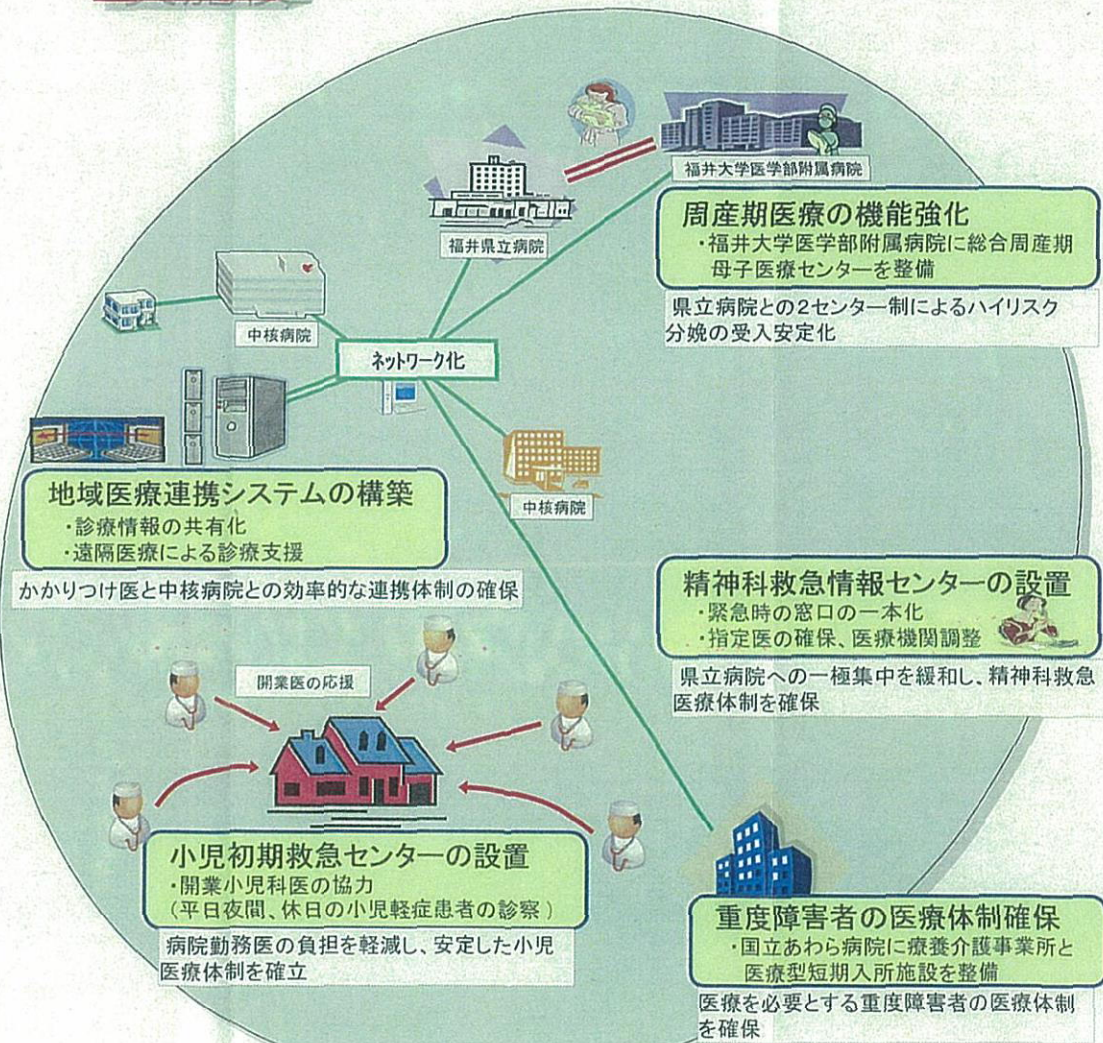
現状



課題

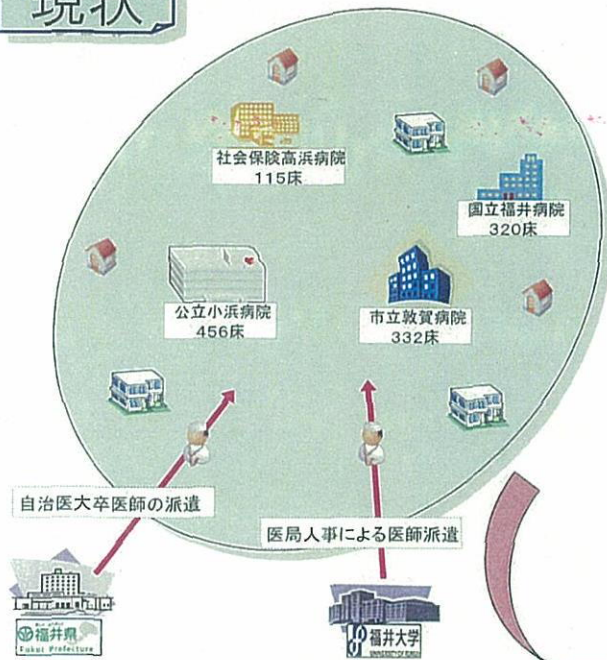
- 救急を担う病院に荷重な負担
 - ・患者集中により、三次救急および総合周産期母子医療センターの機能を担う県立病院の負担が増大。(精神科医、産科医等が疲弊、MFICU・NICUがほぼ満床)
 - ・小児の軽症患者が病院へ集中し、小児科病院勤務医の負担が増大。
- 医療機能の分担と連携が不十分
 - ・外来患者が病院に集中する傾向があり、重症患者に対する対応等病院が本来担うべき役割に支障をきたす恐れがあり、かかりつけ医と病院の連携が不十分である。
- 重度障害者に対する医療提供体制が不足
 - ・療養介護事業所が県内にないため、療養介護サービスが必要な県内の障害者はすべて県外に入所しており、患者や家族の負担が大きい。

実施後

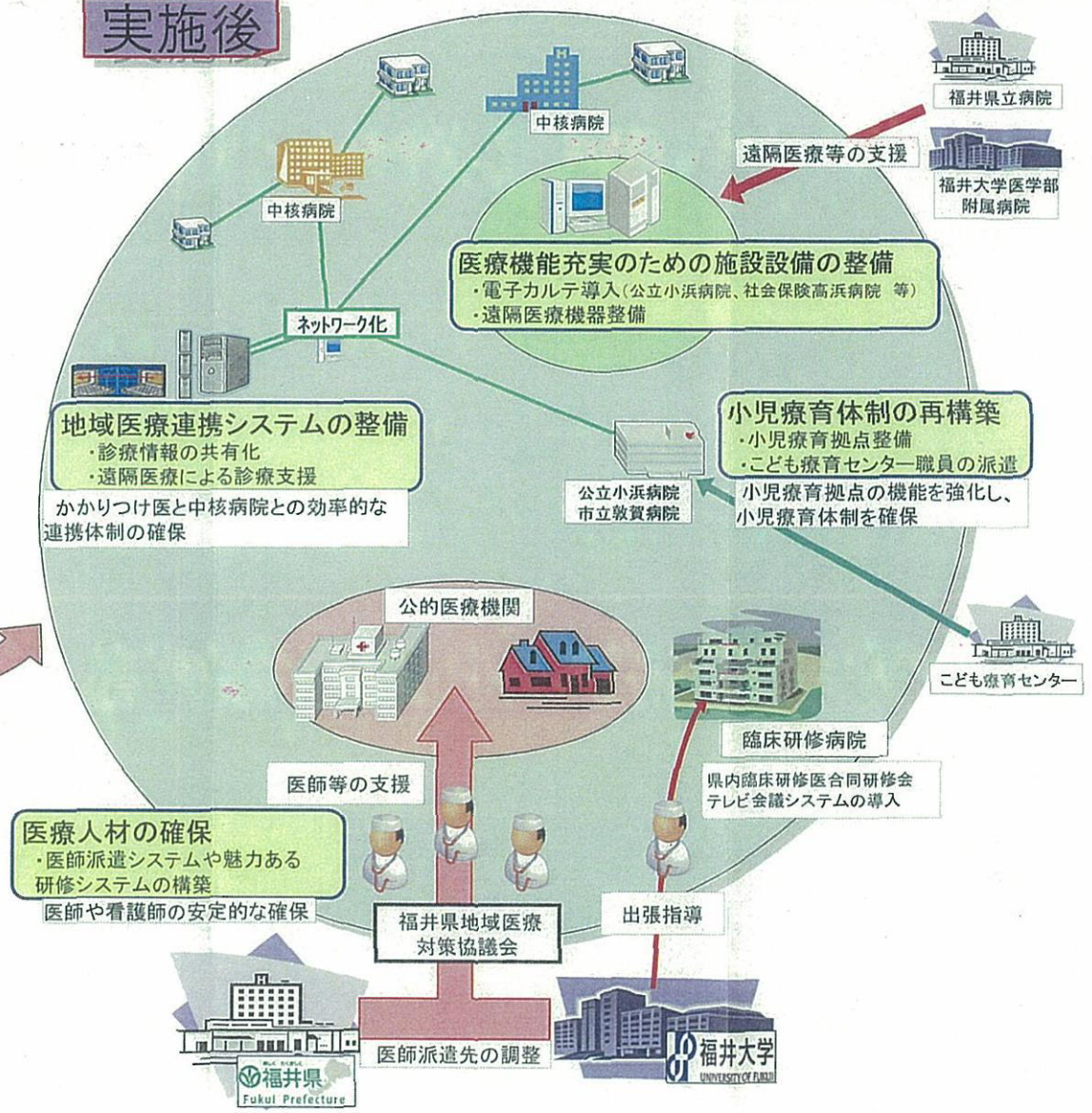


福井県地域医療再生計画(嶺南医療圏:医療機能・医師確保対策の充実強化)

現状



実施後

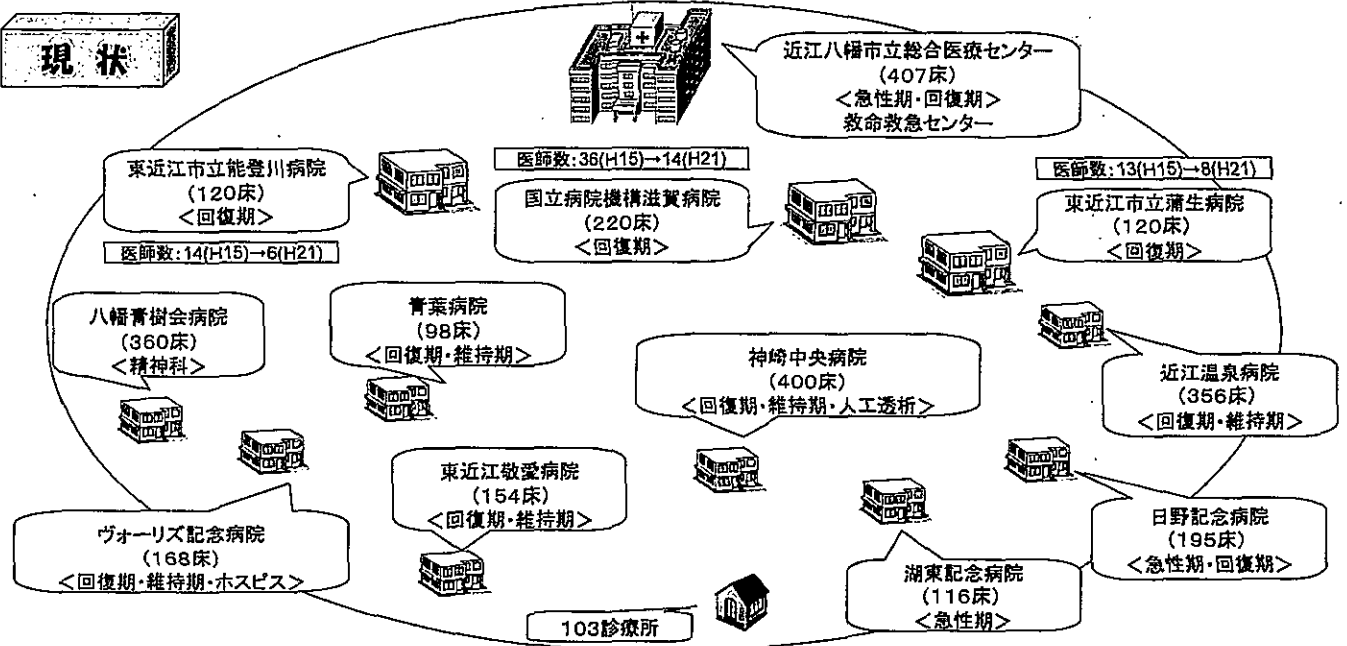


課題

- 医療人材が不足
 - ・ 周産期や救急等地域に必要な医療を提供している公的病院を中心に医師が不足している。
- 小児療育体制が不十分
 - ・ 発達障害児の増加等により、小児療育の専門スタッフの確保が困難。
 - ・ 療育訓練が可能な小児専用訓練室がない。
- 医療機能の分担と連携が不十分
 - ・ 地域の医療機関を後方支援する地域医療支援病院がない。
 - ・ 中核病院の電子化が遅れている。

東近江医療圏 地域医療再生計画(救急医療・機能分化・連携に重点)

現状



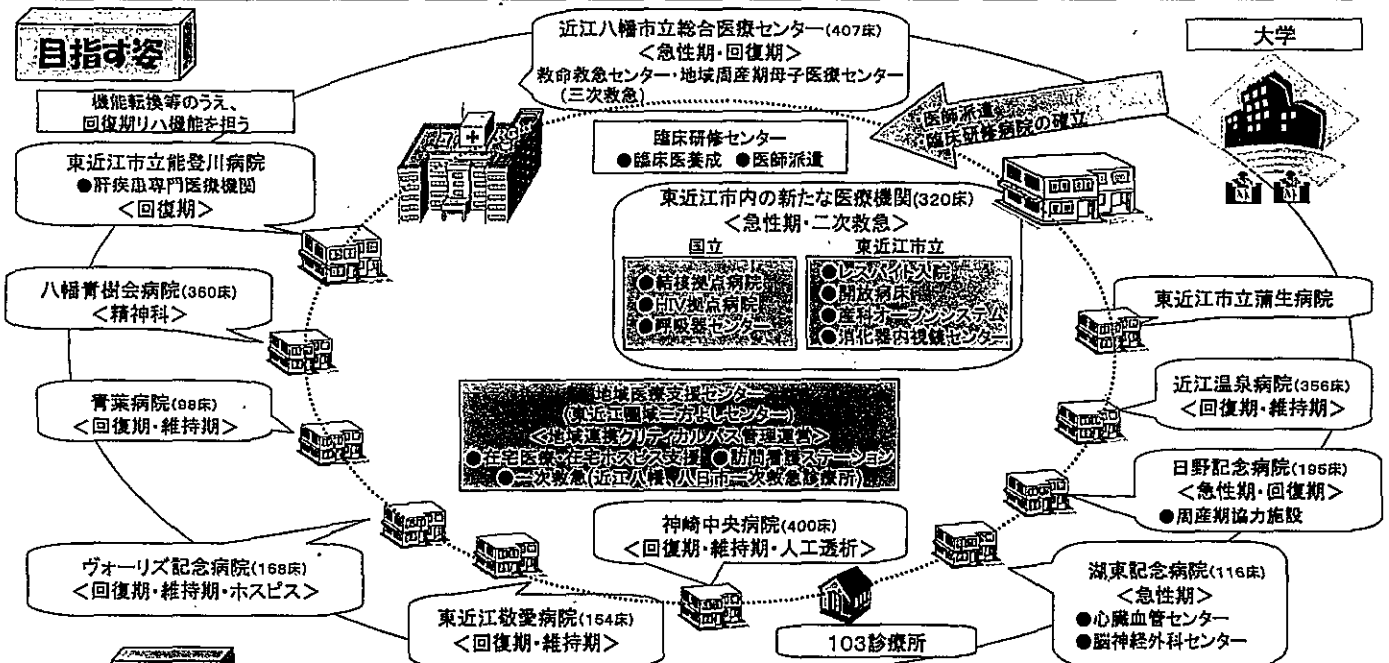
課題

- 東近江市の国公立3病院の医師不足により、二次救急医療が崩壊し、二次救急患者が三次救急に集中
- 産科、小児科医師の不足により、小児救急および周産期医療に支障
- 東近江圏域で地域がん診療拠点病院が未指定
- 看護師不足
- 在宅医療・在宅ホスピスの推進

東近江医療圏 地域医療再生計画(救急医療・機能分化・連携に重点)

「(仮)東近江圏域医療福祉三方よしプロジェクト」

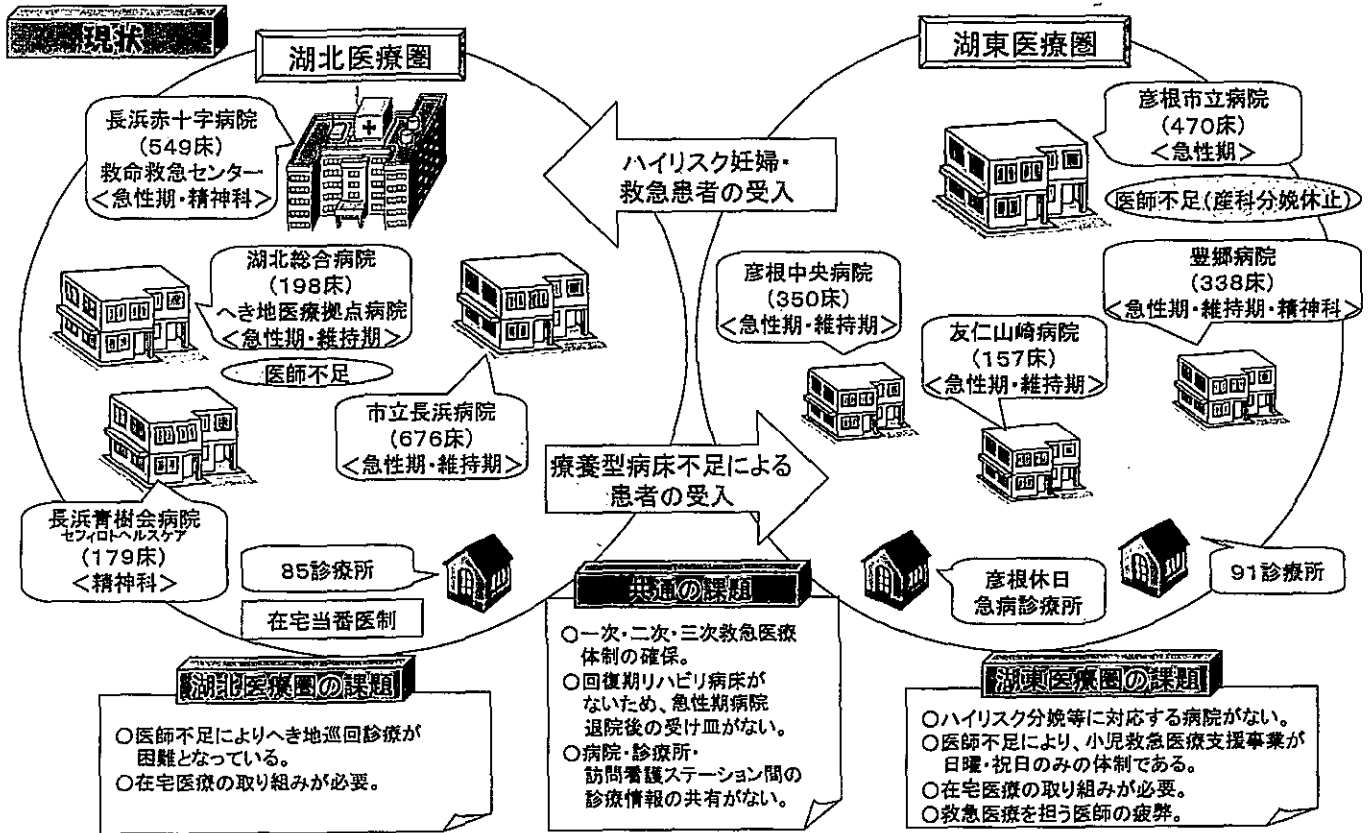
目指す姿



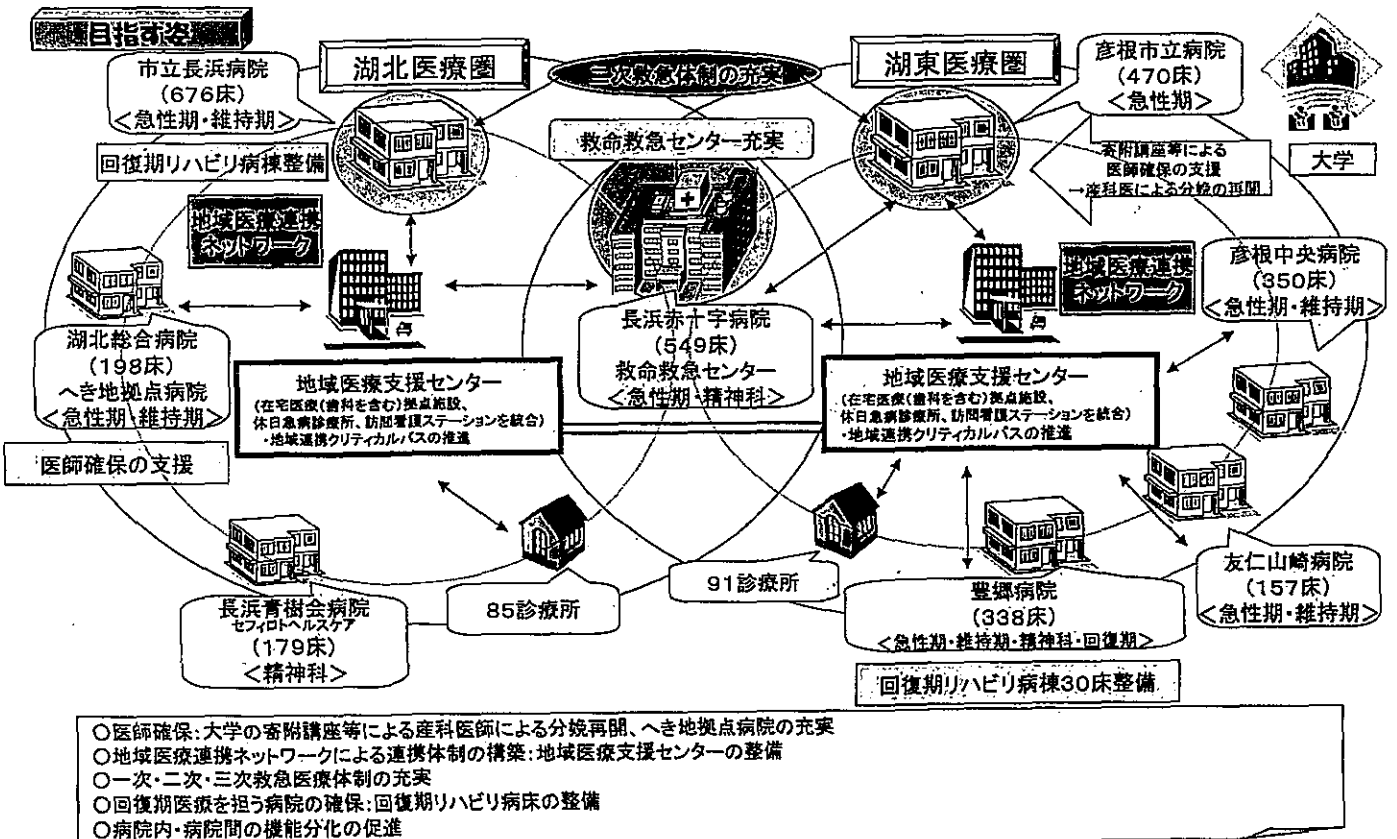
目標

- 民間を含めた病院の機能分化による急性期医療体制および周産期も含む二次救急体制の確立
- 地域連携クリティカルパスの活用による医療連携体制(医科歯科連携も含む)の確立と在宅医療・在宅ホスピスの推進
- 関係大学との連携強化
- 魅力ある病院群の形成

湖東・湖北医療圏 地域医療再生計画(医師確保・機能分化・連携に重点)



湖東・湖北医療圏 地域医療再生計画(医師確保・機能分化・連携に重点)



京都府・丹後地域医療再生計画（医師等にとっても魅力ある医療環境づくりによる地域医療の再生）

現状

課題

- 医療資源
 - ・医師、看護師等の医療従事者の不足（都市部への偏在）
 - ・高齢化、医療過疎が進む脆弱な医療提供体制
- 救急医療
 - ・搬送件数の増加、搬送時間の短縮
- その他4疾病5事業対策
 - ・医師、看護師等の医療従事者、医療提供体制の不足

